

平成20年度  
年 報

## ■ 目 次 ■

◆ 目的及び事業	2～3
◆ 平成 20 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6～7
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7～8
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆ 統計・資料	
I 平成 20 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 20 年度 事業別利用状況	9
III 平成 20 年度 資料収集状況	10
◆ 組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆ その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～16
III 財団法人北海道文学館役員等名簿	表 3

## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	330円	1人に 220円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	670円	1人に 550円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			57,450円
講堂	7,090円	8,860円	14,730円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	990円	1人に 850円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	1,620円	1人に 1,200円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	2,640円	1人に 2,050円 つき

## ■ 平成 20 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,236 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	3,346 点
計	4,582 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈・寄託目録作成等  
収蔵資料データベースの公開・検索システムの構築

閲覧 利用者 延 4,849 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観覧者数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	9,414	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を公開している。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別企画展 詩の黄金の庭 吉増剛造展	6/28(土) ～ 8/31(日) (56 日間)	1,716	世界を舞台に現代詩の最前線で創作を続ける詩人吉増剛造の活動を、吉増自作の写真作品、銅板オブジェ、映像作品を交えて紹介した。詩という文字媒体の芸術が写真・映像など他ジャンルの表現領域へと広がってゆく吉増の作品世界を通し、言語の持つ可能性について示唆することが出来た。
	企画展 馬たちがいた 加藤多一と北の風景	4/26(土) ～ 6/15(日) (44 日間)	2,911	北海道滝上町生まれの童話作家、加藤多一の文学作品とその絵本原画により加藤多一の文学世界を紹介。加藤多一とゆかりのある美術家たちの原画作品を一堂に鑑賞できる初めての展覧会として、文学と絵画が織り成す芸術世界を味わう好機となった。
	企画展 鳥のこぼ・人のこぼ 加藤幸子の見つめる世界	10/25(土) ～ 12/14(日) (44 日間)	1,999	札幌市出身の芥川賞作家、加藤幸子の文学の世界を広く道民に紹介。自然や動植物と人との関わりを見つめ続ける彼女の姿勢をとおして、自然の偉大さや自然環境を守る人間のあり方を示唆する展覧会になった。
	企画展 文学の鬼を志望す 八木義徳	1/31(土) ～ 3/29(日) (50 日間)	1,968	室蘭市出身の芥川賞作家、八木義徳の没後 10 年を契機に、八木が晩年を過ごした東京都町田市市民文学館との共催で、初めての本格的な展覧会を行った。生涯と其中で生まれた作品を中心に、八木義徳という人物と作品の魅力を紹介した。
貸館	知床断章 詩と書のであい	1/4(日) ～ 1/15(木) (10 日間)	1,009	(財)北海道文学館・書究文化書芸院の共催。知床の春夏秋冬をテーマにした原子修の叙事詩《知床断章》を、書家の山田起雲が秀麗な筆致で謳い上げた作品を展示。

〈常設展示室に「文学館アーカイブ（新着資料）コーナー」設置〉

- ・第 1 期展示 8 月 16 日(土)～9 月 30 日(火)  
「札幌市街之図」(1876 年、作製者不明)など札幌市の古地図(北海道北方博物館交流協会理事長・歴史研究：舟山廣治氏寄贈資料)
- ・第 2 期展示 10 月 1 日(水)～12 月 26 日(金)  
下母沢寛、武林無想庵、知里眞志保、伊藤整の各自筆原稿(当館蔵)
- ・第 3 期展示 1 月 4 日(日)～3 月 29 日(日)  
「丹下左膳」などで知られ三つのペンネームを持つ函館育ちの作家：長谷川海太郎(1900-1935)の自筆原稿など(当館蔵)

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆ 20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆ 助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆ 漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆ 道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆ 逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆ モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆ 戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆ 復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆ 成長期の精華 雑誌「北海文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆） ◆ 変転する現代 高橋揆一郎『『伸子』覚え書き』自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

### 〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆ 「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆ 「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆ 「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

### 〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆ 北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆ 来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮柊二ほか ◆ 口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆ アイヌの歌人 バチラー八重子、遠星北斗、森竹竹市ほか

### 〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆ 北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨園子、青木郭公ほか ◆ 俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆ 花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆ 俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

### 〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

### 〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆ 明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆ 昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆ 北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

### 〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆ 明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆ 昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆ 昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

### 〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目		事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考
教 育 普 及 事 業	加藤多一展関連 アートトーク	「原画・挿絵でたどる加藤多一の文学」(加藤多一氏、酒井忠康氏)	4/26(土)	82	
	加藤多一展関連 朗読会	「作者と聞く朗読の会」 (朗読：本山節彌氏ほか)	5/3(土)、5/17(土)、 5/31(土)	199	
	加藤多一展関連 朗読会	加藤多一作品朗読会 (朗読：サークル「風の音」会員)	5/1～6/15の毎木曜日と 日曜日(5/25、6/1除く)	321	
	加藤多一展関連 児童文学セミナー	「短編小説のちからと未来」(加藤多一氏、後路好章氏、中澤千磨夫氏)	6/7(土)	74	
	加藤多一展関連 往復書簡プロジェクト	童話作家・加藤多一氏とメッセージ を交換する(加藤多一氏、来館者)	加藤多一展会期中	164	
	加藤多一展関連 展示室講話	「馬をめぐって～加藤多一と四つのお話」(寺嶋学芸主幹)	5/10(土)、5/24(土)、 6/14(土)	65	
	吉増剛造展関連 トークセッション	「吉増剛造の現在」(吉増剛造氏、小林康夫氏、高橋世織氏、工藤正廣氏)	6/28(土)	126	
	吉増剛造展関連 鼎談	「言葉のざわめき、おとのねにおりて ゆくとき」(吉増剛造氏、柳瀬尚紀氏、 工藤正廣氏)	6/29(日)	87	
	吉増剛造展関連 鼎談	「エクリチュール、書くことうつつ ことの現在」(吉増剛造氏、高橋世織氏、 工藤正廣氏)	6/30(月)	65	
	吉増剛造展関連 映像ライブ	「キセキ gozo Cine」(Vol 1～6)の 上映と対話(吉増剛造氏ほか)	7/1(火)、7/2(水)、 8/8(金)、8/16(土)、 8/17(日)、8/30(土)	248	
	吉増剛造展関連 映画鑑賞会	「島の唄」「彼岸から」 (主演：吉増剛造氏)	7/20(日)	39	
	吉増剛造展関連 朗読パフォーマンス	「花火の家の入り口で」 (朗読：吉増剛造氏)	8/9(土)、8/10(日)	142	
	加藤幸子展関連 文芸対談	「自然と文学～文学を翼にのせて～」 (加藤幸子氏、梨木香歩氏)	11/1(土)	101	
	加藤幸子展関連 朗読会	「加藤幸子・生きものたちとの朗読 会」(朗読：加藤幸子氏、ピアノ：島 田瑠里氏)	11/2(日)	35	
	加藤幸子展関連 対談	「環境問題と文学～明日のための寓 話～」(加藤幸子氏、小川 巖氏)	11/22(土)	83	
	八木義徳展関連 文芸講演会	「八木義徳と北海道の風土」 (木原直彦氏)	2/1(日)	67	
	※ 八木義徳展関連 朗読会	「八木義徳の世界～ギター演奏と ともに」(朗読：館野直光氏、ギター： 若狭弘樹氏)	1/31(土)	84	
	※ 八木義徳展関連 観覧者参加型事業	「拝啓、八木義徳様」 (八木義徳展観覧者)	八木義徳展会期中	38	
	知床断章展関連 トークと朗読と 縄文太鼓	「トークと叙事詩朗読と縄文太鼓の 午後」(朗読：原子 修氏、縄文太 鼓：茂呂剛伸氏、トーク：山田起雲 氏)	1/11(日)	155	
	※ 連続朗読会	「長野京子さんを偲ぶ夕べ」(朗読： 松井信子氏、チェンバロ：明楽みゆ き氏)	8/1(金)、8/2(土)	182	
※ 文化セミナー	「小説を書くために…『文学賞』：傾 向と対策」(日浅尚子氏、まさきとし か氏)	3/28(土)	70	北海道新聞社と共 催	
※ ウィークエンド・ カレッジ	前期・「近代文学とサハリン」等6講座 後期・「シュベルト愛と痛みの詩学」等2講座	前期・5～9月の土、日 後期・11～2月の土、日	367		
※ ロビーコンサート	「文学館ロビーコンサート2008」 バロック音楽の調べ(チェロ：坪田 亮氏ほか)	11/3(月)	68		
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」 (講師：工藤正廣氏ほか)	7/30(水)～8/1(金) 3日間	28		

事業項目		事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
教 育 普 及 事 業		ファミリー文学館 展覧会	「言葉を観る／映像を書く」 岩井成昭展	9/18(木)～10/13(月) (23日間)	1,128	
		ファミリー文学館 ワークショップ	「言葉を観る／映像を書く」 小説の1シーンを60秒のビデオ映 像化(岩井成昭氏、応募者)	9/18(木)～9/24(水) (1週間)	119	
		ファミリー文学館 事業	「第3回夏休み小中学生短歌コンテ スト」(審査員:内田 弘氏、阿知良 光治氏ほか)	応募期間7/8(火)～ 8/31(日) 表彰式9/20(土)	1,662	
	※	わくわく こどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室など に親子で参加	13回開催	603	
		映画鑑賞会	「ひばりの花笠道中」 (観世光太原作、1962年東映)	5/25(日)	91	
		映画鑑賞会	「男はつらいよ 寅次郎相合い傘」 (山田洋次原作・監督、1975年松竹)	8/3(日)	91	
		映画鑑賞会	「雪の断章(情熱)」 (佐々木丸美原作、1985年東宝)	11/16(日)	101	
		映画鑑賞会	「めし」(林美美子原作、1951年東宝)	3/1(日)	100	
		「文字・活字文化の 振興事業」シンポジウム	「文字・活字を愉しむ」(熊谷ユリヤ 氏、前川公美夫氏、立花峰夫氏)	10/26(日)	14	
	※	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催 で、講演会や朗読会等を開催	14会場	1,303	
	※	読書普及活動	「文学館古書バザール」	11/15(土)	120	
	※	文化施設連携事業	「カルチャーナイト2008」 展示室の夜間開館等を実施	7/25(金)	238	
	※	小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	564	
		文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)	4,849	
		文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)	1,261	
	※	文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	798	
教育普及事業参加者 計				15,932		

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 企画展「馬たちがいた 加藤多一と北の風景」関連資料調査
- ② 特別企画展「詩の黄金の庭 吉増剛展」関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「岩井成昭展 言葉を観る／映像を書く」関連資料調査
- ④ 企画展「鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界」関連資料調査
- ⑤ 企画展「文学の鬼を志望すー八木義徳」関連資料調査
- ⑥ 特別企画展・企画展の図録作成に要する調査
- ⑦ ほくでん「フロンティア」関連資料調査
- ⑧ アイヌ口承文芸関連資料調査
- ⑨ 三浦綾子関連資料調査
- ⑩ 小林重予関連資料調査
- ⑪ サハリン関連資料調査
- ⑫ 藤倉英幸関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに主共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 中川町教育委員会  
「斎藤茂吉記念第15回中川町短歌フェスティバル」  
(平成20年6月1日～9月21日 中川町教育委員会)
- ② Studio La Tortue  
「亀井貴幸ギターリサイタル」  
(平成20年6月13日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ ギター大好き恵子ママの部屋  
「益田正洋ギターコンサート」



- (平成 20 年 6 月 20 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 宮下祥子ギター教室  
「宮下祥子ギターコンサート」  
(平成 20 年 7 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑤ 佐藤洋一ギターコンサート実行委員会  
「佐藤洋一ギターコンサート SPAIN」  
(平成 20 年 8 月 28 日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑥ 絵本・児童文学研究センター  
第 13 回文化セミナー「みみをすます」一河合隼雄の遺したもの—  
(平成 20 年 11 月 23 日 小樽市民会館)
  - ⑦ 社団法人札幌市友会「札幌時計台」、NHK 文化センター朗読教室松井信子クラス  
時計台建設 130 周年記念  
「北海道ゆかりの文学を読む」10 周年記念朗読会  
(平成 20 年 12 月 7 日 札幌市時計台ホール)
  - ⑧ 「北海道の出版文化史展」実行委員会  
「北海道の出版文化史展」  
(平成 20 年 11 月 25 日～12 月 4 日 紀伊國屋書店札幌本店二階ホール)
  - ⑨ 社団法人全日本川柳協会、全日本川柳 2009 年札幌大会実行委員会  
「第 33 回全日本川柳 2009 年札幌大会」  
(平成 21 年 6 月 28 日 京王プラザホテル札幌) ※ 21 年度事業
  - ⑩ NPO「東アジア隣人ネットワーク」  
「忠清南道李完九知事と語る」  
東アジアの中の半島と列島 —地域と社会から人間を考える—  
(平成 21 年 2 月 5 日 札幌パークホテル)
  - ⑪ ギター大好き恵子ママのホームページ  
「國松竜次ギターリサイタル」  
(平成 21 年 3 月 14 日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑫ 加賀屋恵子音楽事務所  
「春に奏でるヴァイオリン&ギターの調べ」  
(平成 21 年 4 月 12 日 北海道立文学館地階ロビー) ※ 21 年度事業

## VI 啓発広報事業

- ① 施設案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行。
- ② 「北海道文学館報」第 73 号（4 月 21 日）、第 74 号（6 月 20 日）、第 75 号（10 月 21 日）、第 76 号（2 月 3 日）

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 企画展「加藤多一展」図録の刊行。
- ② 特別企画展「吉増剛造展」図録の刊行。
- ③ 企画展「八木義徳展」図録の刊行。
- ④ 平成 19 年度年報の刊行。
- ⑤ 北海道文学館叢書「林檎林の二本道」の刊行。
- ⑥ 北海道文学館 NP 選書「魂の歌手」の刊行。

## VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受け入れ  
博物館実習生—13 名（7 月～12 月、一人 2 週間）  
\*北海道教育大 5 名、東海大 3 名、北翔大 2 名、札幌市立大 2 名、関東学院大 1 名
- ② 古書バザールの実施  
文学館ロビーで通年実施したほか、7 月と 11 月の 2 回「古書市」を開催。

## ■ 統計・資料 ■

### I 平成 20 年度 展覧会別観覧状況

区 分	常設展	特別企画展	企 画 展			貸 館	計		
	北海道の文学	吉増剛造展	加藤多一展	加藤幸子展	八木義徳展	知床断章展			
開催日数	308	56	44	44	50	10			
有 人 料	個 人	一般	1,113	467	513	192	187	1,009	3,481
		高大生	123	44	33	10	15		225
		小中生		4					4
		幼児							
	団 体	小計	1,236	515	546	202	202	1,009	3,710
		一般	501	170	130	62	102		965
		高大生	57	27	20	4	18		126
		小中生							
小計	558	197	150	66	120		1,091		
免除・招待	7,620	1,004	2,215	1,731	1,646		14,216		
観覧者総数	9,414	1,716	2,911	1,999	1,968	1,009	19,017		

### II 平成 20 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特別会計事業	展覧会事業	常設展	513	1,014	708	745	938	927	1,075	841	593	678	637	745	9,414
		企画展「馬たちがいた 加藤多一と北の風景」	353	1,716	842										2,911
		特別企画展「詩の黄金の庭 吉増剛造展」			170	560	986								1,716
		企画展「鳥のこぼれ・人のこぼれ」							288	997	714				1,999
		企画展「文学の鬼を志望する八木義徳」										143	819	1,006	1,968
	貸館「知床断章 詩と書のであい」										1,009			1,009	
	教育普及事業	文芸講演会・セミナー	82	396	705	125	304		14	219		155	105		2,105
		ファミリー文学館 (ワークショップ、短歌コンテスト含む)					1,662	708	539						2,909
		映画鑑賞会		91			91			101				100	383
		文学道場				28									28
愛好団体の文学活動		61	123	20	77	37	22	460	138	32	62	67	162	1,261	
資料閲覧・共同研究	452	509	368	391	481	402	397	436	289	385	347	392	4,849		
小 計		1,461	3,849	2,813	1,926	4,499	2,059	2,773	2,732	1,628	2,432	1,975	2,405	30,552	
一般会計事業	教育普及事業	文芸講演会・セミナー										84		70	154
		連続朗読会					182								182
		ウィークエンド・カレッジ		61	58	60	61	49		12	15	30	21		367
		わくわくこどもランド		51	42	86	122	56	52	52	109		33		603
		ロビーコンサート								68					68
		市町村連携事業「文学館出前講座」		139	77				396	378	313				1,303
		カルチャーナイト 2008				238									238
		文学館たんけんクイズ	21	5	23	11	14	117	111	102	72	39	23	26	564
		古書バザール								120					120
		公演（コンサート、朗読会）	82	78	120	100				80	30	132		106	798
小 計		103	334	320	495	379	618	621	697	328	153	183	166	4,397	
合 計		1,564	4,183	3,133	2,421	4,878	2,677	3,394	3,429	1,956	2,585	2,158	2,571	34,949	

### Ⅲ 平成 20 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

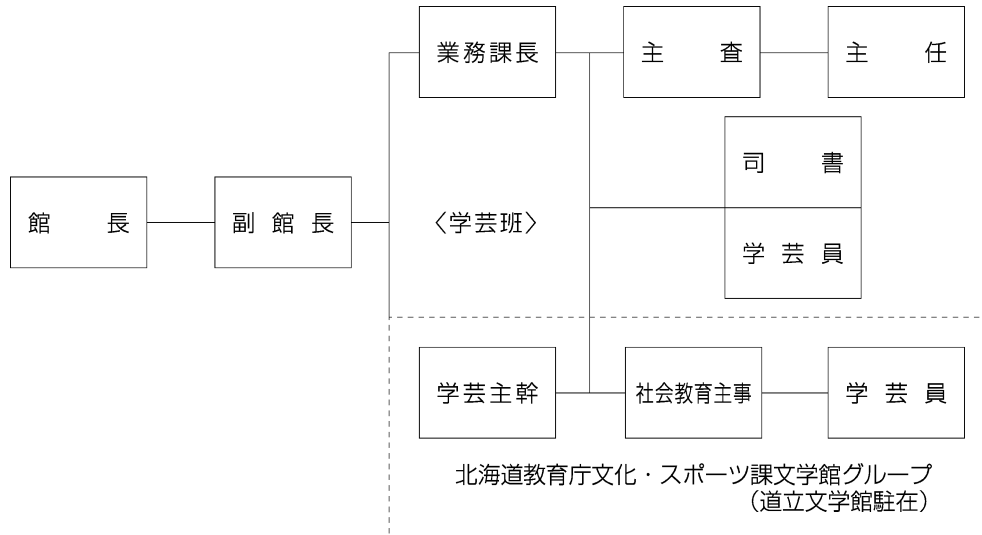
区 分	購 入	受 贈	合 計
図 書 資 料	501	681	1,182
雑 誌 資 料	679	1,776	2,455
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	4	5	9
特 別 資 料	52	884	936

〈主な収集特別資料一覧〉

・ HBC 映画社製作記録映画台本	110 点	受贈
・ 佐藤忠良 <加藤多一著『原野にとぶ鶴』挿絵原画>	23 点	受贈
・ 山田起雲書作品	1 点	受贈
・ 北海道電力株式会社広報誌『フロンティア』掲載 直筆原稿・写真・イラスト原画など	737 点	受贈
・ 高浜虚子短冊ほか俳句関係資料	13 点	受贈
・ 吉増剛造自筆原稿「石狩シーツ」(22 枚)	1 点	購入
・ 谷譲次(長谷川海太郎)自筆原稿「めりけん一代男」(400 字詰 8 枚)	1 点	購入
・ 武林無想庵「無想庵アルバム(2)」(200 字詰 31 枚)	1 点	購入
・ 更科源蔵宛八木義徳はがき	1 点	購入
・ 清水宏宛船山馨書簡(巻紙)	1 点	購入
・ 長谷川四郎自筆原稿「背信湾の人質」(400 字詰 100 枚)	1 点	購入
・ 石森延男自筆色紙「日々新しく泉のごと」(和田義雄宛)	1 点	購入
・ 原田康子自筆原稿「冬の月」(400 字詰 29 枚)	1 点	購入
・ 樺太絵はがき	15 点	購入
・ 波多野秋子宛有島武郎書簡など有島関係資料	28 点	購入

## ■ 組織及び職員 ■

### I 組織機構図



### II 職員

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長 (財団副理事長)	清原 登志夫	業務課学芸班 学芸員	喜多 香織		
副館長 (財団専務理事)	平原 一良	北海道教育庁文化・スポーツ課 文学館グループ (道立文学館駐在)			
業務課長 (財団常務理事)	川崎 信雄				
業務課主査	永野 キエ			学芸主幹	寺嶋 弘道
業務課主任	丹伊田 範子			社会教育主事	鈴木 浩
業務課学芸班司書	今野 沙紀			学芸員	阿部 かおり

## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事項	年次	事項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		大事典』発行、地域文化功労者賞受賞
43	文学に見る北方風物展	61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展
44	北海道旅の文学展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
46	北海道詩歌展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
47	目で見える札幌文学散歩	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新墾」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念齋藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	7	澤田誠一理事長就任
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学		

年次	事項	年次	事項
	北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち		企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿
8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界		企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔	17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展 特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～ 特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代		企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	18	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～ 特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙 特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち 企画展・花咲く北の川柳展		企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～ 特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～ 企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～ 企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展 企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
14	神谷忠孝理事長就任 特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド——きらめく闇の宇宙～ 特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～ 企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～	19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であつたころ～ 特別企画展・目で識る川柳250年展 併設：北海道川柳の流れ 企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～ 企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～		企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌 企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語 企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展 企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景 企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界 企画展・文学の鬼を志望す—八木義徳

## II 諸会議・運営日誌

- 平成 20 年
- 4月26日(土) 企画展「馬たちがいた～加藤多一と北の風景～」オープン(～6月15日)  
同展オープニングセレモニー  
アート・トーク「挿絵でたどる加藤多一の文学」(童話作家・加藤多一)  
松木幸夫春のギターコンサート
- 5月1日(木) 「風の音」朗読会(江國香織「ラブミーテンダー」)  
全体職員会議
- 3日(土) 作者と聞く朗読の会「馬を洗って……」(朗読・本山節彌)
- 4日(日) ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤精一郎)  
「風の音」朗読会(藤沢周平「飛鳥山」)
- 5日(月) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル)
- 8日(木) 「風の音」朗読会(藤沢周平「泣かない女」)
- 10日(土) 展示室講話「馬をめぐる～加藤多一と4つのお話」(講師・寺嶋弘道)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・吉岡正敏)
- 11日(日) 「風の音」朗読会(佐江衆一「水明かり」)
- 15日(木) 「風の音」朗読会(向田邦子「再会」)
- 16日(金) 「文学館出前講座」(せたな町、講師・斎藤大雄)
- 17日(土) ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・高橋秀明)  
作者と聞く朗読の会「ホシコ」(朗読・星野桂子)
- 18日(日) ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)  
「風の音」朗読会(阿刀田高「大心力」)
- 22日(木) 財団監事監査
- 23日(金) 「風の音」朗読会(ビートたけし「ドテラのチャンピオン」)  
財団役員改選小委員会  
財団第1回運営検討委員会
- 24日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・高橋秀明)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・工藤正廣)  
展示室講話「馬をめぐる～加藤多一と4つのお話」(講師・寺嶋弘道)
- 25日(日) 映画鑑賞会「ひばりの花笠道中」(原作・観世光太、1962年、東映)
- 29日(木) 「風の音」朗読会(松本清張「一年半待て」)
- 30日(金) 財団第1回理事会・評議員会
- 31日(土) ウィークエンド・カレッジ(近代文学とサハリン、講師・神谷忠孝)  
作者と聞く朗読の会「はるふぶき」  
「風の音」朗読会(江國香織「ラブミーテンダー」)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)
- 6月1日(日) 全体職員会議
- 3日(火) 「風の音」朗読会(鈴木静一「朱雀門」)
- 5日(木) 有島記念館開館30周年記念式(有島記念館)
- 7日(土) わくわくこどもランド  
児童文学セミナー「短編小説のちからと未来」(加藤多一、後路好章、中澤千磨夫)
- 8日(日) 「風の音」朗読会(森 鷗外「高瀬舟」)
- 12日(木) 「文学館出前講座」(小平町、講師・クレヨンカンパニー)  
北海道図書館大会(Hライフオート札幌、～13日)  
「風の音」朗読会(松本清張「百円硬貨」)
- 13日(金) 三浦綾子記念文学館開館10周年記念式(ロワジーH)  
亀井貴幸ギターリサイタル
- 14日(土) ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・吉岡正敏)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・高橋秀明)  
展示室講話「馬をめぐる～加藤多一と4つのお話」(講師・寺嶋弘道)
- 15日(日) 「風の音」朗読会(水上 勉「越前竹人形」)
- 19日(木) 全国文学館協議会総会・幹事会(日本近代文学館)
- 20日(金) 益田正洋ギターコンサート
- 21日(土) ウィークエンド・カレッジ(近代文学とサハリン、講師・神谷忠孝)
- 27日(金) 吉増剛造展レセプション
- 28日(土) ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・吉岡正敏)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・高橋秀明)  
特別企画展「詩の黄金の庭 吉増剛造展」オープン(～8月31日)

- トークセッション「吉増剛造の現在」(吉増剛造、小林康夫、高橋世織、工藤正廣)
- 29日(日) 鼎談(吉増剛造、柳瀬尚紀、工藤正廣)
- 30日(月) 鼎談(吉増剛造、高橋世織、工藤正廣)
- 7月1日(火) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(対話:吉増剛造、工藤正廣)  
韓国国立子ども青少年図書館一行視察来館
- 2日(水) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(対話:吉増剛造、野坂幸弘)
- 4日(金) 宮下祥子ギターコンサート
- 5日(土) ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・野坂幸弘)
- 8日(火) 全体職員会議
- 12日(土) わくわくこどもランド  
渡辺淳一文学館10周年記念祝賀会(札幌プリンスH)
- 19日(土) ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・吉岡正敏)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・野坂幸弘)
- 20日(日) 吉増剛造主演フィルム上映会「島の唄」「彼岸から」
- 21日(月) 松木ギター教室サマーコンサート
- 25日(金) カルチャーナイト2008(時間延長—午後10時まで、古書市)
- 26日(土) ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・吉岡正敏)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(近代文学とサハリン、講師・斉藤征義)
- 27日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「うちわをつくろう」)
- 30日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」
- 31日(木) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」
- 8月1日(金) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」  
連続朗読会「長野京子さんを偲ぶ夕べ」(朗読・松井信子、チェンバロ・明楽みゆき)
- 2日(土) 連続朗読会「長野京子さんを偲ぶ夕べ」(朗読・松井信子、チェンバロ・明楽みゆき)  
わくわくこどもランド  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)
- 3日(日) 映画鑑賞会「男はつらいよ 寅次郎相合い傘」(原作・山田洋次、1975年、松竹)
- 6日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう」)
- 7日(木) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう」)
- 8日(金) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(対話:吉増剛造、工藤正廣)
- 9日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・工藤正廣)  
ライブパフォーマンス「花火の家の入り口で」(吉増剛造)
- 10日(日) ライブパフォーマンス「花火の家の入り口で」(吉増剛造)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)
- 16日(土) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(喜多香織)
- 17日(日) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(工藤正廣、平原一良)
- 23日(土) ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・工藤正廣)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(北海道の詩を語る、講師・野坂幸弘)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)
- 30日(土) 「映像上映会—キセキ gozoCine」(吉増剛造)  
ウィークエンド・カレッジ(近代文学とサハリン、講師・斉藤征義)
- 9月6日(土) 故斎藤大雄氏を偲ぶ会  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・工藤正廣)  
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)
- 10日(水) 岐阜県議会一行視察来館
- 18日(木) <ファミリー文学館>岩井成昭展「言葉を観る／映像を書く」オープン(～10月13日)  
ワークショップ「言葉を観る／映像を書く」(～9月24日まで、参加者公募)  
北海道監査
- 20日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)  
ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)  
ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)  
短歌コンテスト表彰式
- 22日(月) 「文学館出前講座」(平取養護学校ペテカリの園分校、講師・クレヨンカンパニー)
- 23日(火) わくわくこどもランド
- 24日(水) 「文学館出前講座」(登別明日中等学校、講師・斉藤征義)
- 26日(金) 財団第1回企画検討委員会
- 27日(土) ウィークエンド・カレッジ(近代文学とサハリン、講師・柴村紀代)
- ウィークエンド・カレッジ(ロシア語事始め、講師・工藤正廣)
- 28日(日) ウィークエンド・カレッジ(ロシア文学講読、講師・工藤正廣)



- 10月3日(金) 「文学館出前講座」(高文連、洞爺Hサンパレス、講師・佐々木譲)
- 10日(金) 「文学館出前講座」(旭川聾学校、講師・岸田典大)
- 11日(土) わくわくこどもランド
- 12日(日) 「文学館出前講座」(滝上町、講師・クレヨンカンパニー)
- 15日(水) 琴と朗読の夕べ「源氏物語」の世界
- 16日(木) 「文学館出前講座」(芦別市、講師・館野直光)
- 18日(土) ウィークエンド・カレッジ(俳句・実作とその周辺、講師・辻脇系一)
- 19日(日) 朗読会「北海道の文学を読む」(朗読・松井信子)
- 25日(土) 企画展「鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界」オープン(～12月14日)
- 26日(日) 文字・活字文化の日座談会(熊谷ユリヤ、前川公美夫、立花峰夫)
- 29日(水) 「文学館出前講座」(伊達市、講師・加藤多一)
- 11月1日(土) わくわくこどもランド
- 2日(日) 文芸対談「自然と文学～文学を翼にのせて～」(加藤幸子、梨木香歩)
- 3日(月) 朗読会「加藤幸子・生きものたちとの朗読会」(朗読・加藤幸子、ピアノ・島田璃里)
- 5日(水) ロビーコンサート(バロック音楽、四重奏)
- 7日(金) 北海道文化賞贈呈式(Hライフオーソ札幌)
- 7日(金) 財団第1回収集資料選定評価専門委員会
- 8日(土) 「文学館出前講座」(中富良野町、講師・手島圭三郎)
- 13日(木) 「文学館出前講座」(新十津川町、講師・平原一良)
- 14日(金) 北海道文化団体連絡協議会創立50周年記念祝賀会(ウエルシティー札幌)
- 15日(土) カンテレ演奏会(演奏・あらひろこ)
- 15日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 16日(日) 古書バザール
- 16日(日) 映画鑑賞会「雪の断章(情熱)」(相米慎二監督、1985年、東宝)
- 22日(土) 対談「環境問題と文学—明日のための寓話—」(加藤幸子、小川 巖)
- 26日(水) 「文学館出前講座」(平取養護学校、講師・岸田典大)
- 29日(土) 「文学館出前講座」(帯広市、講師・いいだともき)
- 12月6日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 7日(日) 松尾俊介ギターコンサート
- 13日(土) わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう」)
- 13日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 13日(土) ウィークエンド・カレッジ(シューベルト 愛と痛みの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 14日(日) バイリンガル朗読とグランドハーブの夕べ
- 14日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「カルタをつくろう」)
- 16日(火) 公益法人実地検査
- 23日(火) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル)
- 26日(金) 全体職員会議
- 1月4日(日) 「知床断章～詩と書のであい～」オープン(～15日)
- 10日(土) 同上 オープニングレセプション
- 10日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 11日(日) ウィークエンド・カレッジ(シューベルト 愛と痛みの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 11日(日) 「トークと叙事詩朗読と縄文太鼓の午後」(朗読、縄文太鼓、トーク)
- 16日(金) (朗読・原子 修、縄文太鼓演奏・茂呂剛伸、トークと映像・山田起雲)
- 16日(金) 財団第2回企画検討委員会
- 24日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 24日(土) ウィークエンド・カレッジ(シューベルト 愛と痛みの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 31日(土) 企画展「文学の鬼を志望す—八木義徳展」オープン(～3月29日)
- 31日(土) 同上 オープニングセレモニー
- 朗読会「八木義徳の世界～ギター演奏とともに～」
- (朗読・館野直光、ギター・若狭弘樹)
- 2月1日(日) 文芸講演会「八木義徳と北海道の風土」(講師・木原直彦)
- 7日(土) わくわくこどもランド
- 14日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 14日(土) ウィークエンド・カレッジ(シューベルト 愛と痛みの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 20日(金) 「アリウス マンドリン アンサンブル」
- 28日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 3月1日(日) 映画鑑賞会「めし」(林芙美子原作、1951年、東宝)
- 5日(木) 北海道美術館学芸員研究協議会(～6日)
- 13日(金) 財団第2回運営検討委員会
- 14日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 14日(土) ウィークエンド・カレッジ(シューベルト 愛と痛みの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 25日(水) 國松竜次ギターリサイタル
- 25日(水) 財団第2回理事会・評議員会
- 28日(土) 文化セミナー「小説を書くために……『文学賞』：傾向と対策」
- (日浅尚子、まさきとしか)

### III 財団法人北海道文学館役員等名簿

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	木村 敏男	坂野上 明	原田 康子	
	堀 寛	山口 昌男	山名 康郎				<9名>
参与	朝倉 賢	上西 晴治	木村真佐幸	工藤 欣彌	小杉 捷七	鈴木 光彦	
	高島 二郎	谷口亜岐夫	永井 浩	永田 富智	新妻 博	原子 修	
	樋口 游魚	比良 信治	村井 宏				<15名>

#### 役職員

理事長 1	神谷 忠孝	評議員 1	東 延江	評議員 25	佐藤 将寛	評議員 49	中島 洋
副理事長 2	小檜山 博	// 2	阿知良光治	// 26	佐野 良二	// 50	中館 寛隆
// 3	辻脇 系一	// 3	新井 章夫	// 27	澤辺 成徳	// 51	野坂 政司
// 4	清原登志夫	// 4	飯塚 優子	// 28	柴橋 伴夫	// 52	野坂 幸弘
専務理事 5	平原 一良	// 5	石塚 純一	// 29	杉野 一博	// 53	橋本 征子
常務理事 6	川崎 信雄	// 6	植松美由紀	// 30	鈴木八駿郎	// 54	平澤 秀和
理事 7	内田 弘	// 7	岡崎 守	// 31	瀬戸 正昭	// 55	平野 温美
// 8	加藤 多一	// 8	小笠原治嘉	// 32	高橋 明雄	// 56	本田 優子
// 9	工藤 正廣	// 9	押野 武志	// 33	高橋 秀明	// 57	松嶋 東洋
// 10	斉藤 征義	// 10	小野規矩夫	// 34	滝谷 泰星	// 58	光城 健悦
// 11	柴村 紀代	// 11	笠井 嗣夫	// 35	田口 耕平	// 59	森 一生
// 12	立花 峰夫	// 12	片山 晴夫	// 36	田中 綾	// 60	山下 和章
// 13	谷 暎子	// 13	菊地 慶一	// 37	田中 和夫	// 61	山本 丞
// 14	前川公美夫	// 14	菊地 寛	// 38	田中 厚一	// 62	吉田 真弓
// 15	源 鬼彦	// 15	岸 美千代	// 39	谷口 孝男	// 63	若宮 明彦
// 16	村田 俊秋	// 16	木村 征範	// 40	千葉 宣一	// 64	鷺谷 峰雄
// 17	八子 政信	// 17	日下 哉	// 41	知里むつみ	// 65	和田 由美
// 18	米坂 ヒデノリ	// 18	熊谷ユリヤ	// 42	手島圭三郎	// 66	綿引 幸造
//		// 19	倉島 齊	// 43	寺田 文恵		
//		// 20	小林 真二	// 44	出村 文理		
//		// 21	斎藤 一郎	// 45	藤堂志津子		
//		// 22	桜井 健治	// 46	時田 則雄		
監事 1	吉田 秋陽	// 23	佐々木 讓	// 47	富田 正一		
// 2	清水 憲之	// 24	佐藤庫之介	// 48	中澤千磨夫		

#### 運営検討委員会

<委員 5 名+副理事長 1 名>

副理事長	小檜山 博
理事 1	加藤 多一
// 2	斉藤 征義
// 3	谷 暎子
// 4	前川 公美夫
評議員 5	平澤 秀和

#### 収集資料選定評価専門委員会

(任期：H 20.7.1~H 22.6.30)

<5名>

参与 1	谷 口 亜岐夫
参理 2	工 藤 正 廣
// 3	立 花 峰 夫
// 4	村 田 俊 秋
評議員 5	出 村 文 理

#### 企画検討委員会

<委員 13 名+副理事長 1 名>

副理事長	辻 脇 系 一
理事 1	工 藤 正 廣
// 2	柴 村 紀 代
// 3	立 花 峰 夫
// 4	源 鬼 彦
// 5	内 田 弘
評議員 6	石 塚 純 一
// 7	佐 野 良 二
// 8	谷 口 孝 男
// 9	知 里 む つ み
// 10	松 嶋 東 洋
// 11	森 一 生
// 12	若 宮 明 彦
// 13	和 田 由 美

平成20年度年報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266